

鹿屋市立上小原小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book	教科書 My Book	

鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒につくり、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」を育成を目指します。

2 本校の教育目標

子どもが生き生きと活動する「英語に親しむ学習」の充実を図るにはどうすればよいか。

3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

(1) 1・2 年生の取組

- ・週 0～1 回程度の英語教育を計画・実践している。
- ・ハロウィン集会を行い、お菓子をもらったり、仮装を行ったりして、異文化理解を深めることができた。

(2) 3・4 年生の取組

- ・週 1 回、英語教育を計画・実践している。
- ・Zoom を使ったハロウィン集会を実施し、他国の文化に触れた。

(3) 5・6 年生の取組

- ・週 2 回、英語教育を計画・実践している。
- ・他校（串良小）との遠隔授業を行い、日々の学習の成果を発表し合った。

(4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

- ・上小原中学校との乗り入れ授業を3回実施した。
- ・串良小学校とのオンライン授業を実施した。

(5) 校内研修体制について

- ・外国語での電子黒板やデジタル教材の使い方などを，放課後等に担当教員間で確認している

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	69%	67%	37%	49%	38%	65%
どちらかというと楽しい	28%	22%	26%	20%	38%	15%
あまり楽しくない	3%	20%	20%	23%	19%	4%
楽しくない	0%	17%	17%	8%	5%	16%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
50%	43%	7%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・英語に対する抵抗感をなくし，中学校英語へと上手に繋がられるようにしたい。
- ・コミュニケーションの基礎である英語でのあいさつができるようになること。
- ・英会話だけでなく，様々な言語（中国語やフランス語，ドイツ語など）に触れられるようになること。
- ・料理や工作，遊びなどの体験活動を中心とした活動が進められるようになること。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは，英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
32%	53%	13%	2%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・頭の中で考えずに英語が自然と口から出てくること。
- ・外国の方とのふれあいなどを通じて，日本だけではなく世界にも関心を持てること
- ・異文化に親しむ心を育めること。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
100%	0%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述，一部抜粋)

- ・積極的に英語教育を進めてほしい。
- ・外国文化に触れる機会を増やし，広い視野をもった子どもを育ててほしい。
- ・他国の文化や習慣について学習することを通して，日本のよさを感じてほしい。

5 令和4年度の取組について

(1) 1・2年生の取組

- ・週1回，外国語の時間を設定して学習を進める。
- ・毎月2回程度ALTやJTEとの授業を計画して，体を動かしながら楽しく学習を進める。

(2) 3・4年生の取組

- ・週1回，外国語の時間を設定して学習を進める。
- ・毎月2回程度ALTやJTEとの授業を計画して，体を動かしながら楽しく学習を進める。

(3) 5・6年生の取組

- ・週2回，外国語の時間を設定して学習を進める。
- ・毎月3回程度ALTやJTEとの授業を計画して，体を動かしながら楽しく学習を進める。
- ・スピーキング及びライティングの学習を取り入れて学習を進める。

(4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について

- ・上小原中学校との乗り入れ授業を実施している。
- ・JTEやALTとの情報を基に，中学校との接続を考えた学習を進めている。

(5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について

- ・積極的な参加の呼びかけと，弁論大会を見据えた学習を進める。

(6) グローカル・イングリッシュキャンプについて

- ・多くの児童が希望している。

(7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について

(8) スピーキングクエストの実施について

- ・ 6年生で学習を進める。(ICT支援員に設定をお願いしている。)

(9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について

- ・ 外国語係を中心に，タブレットの活用やスピーキングクエストの活用などを担当者間で共有している。